

大鹿村中央構造線博物館たより 60号



久々ですが『博物館たより』をお届けします。今年4月から博物館に新人の学芸員補、榊原貴志君が入りました。さっそくフレッシュな目で情報発信をやってもらいます。今年は当地『南アルプスジオパーク中央構造線エリア』で「日本ジオパーク全国大会」が開かれます。その準備の様子などもお知らせしていきます。どうぞよろしくお願ひします。(学芸員：河本)

新人あいさつ

大鹿村の皆様、初めまして。神奈川県の開成町というところから参りました、^{さかさばら たかし}榊原 貴志です。4月から地域おこし協力隊として、同時に学芸員補として、大鹿村中央構造線博物館で働かせていただくこととなりました。

実は、岩石や地質を専門にしていた訳ではありません。学芸員を目指し、色々な博物館で就職活動をしていた中、偶然この大鹿村で採用していただいたのです。

大鹿村へ来て早1ヶ月。まだまだ勉強しなければならないことがたくさんありますが、来館された方に解説ができるようになるため、頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。

ジオパーク全国大会に向けて、勉強会開始！

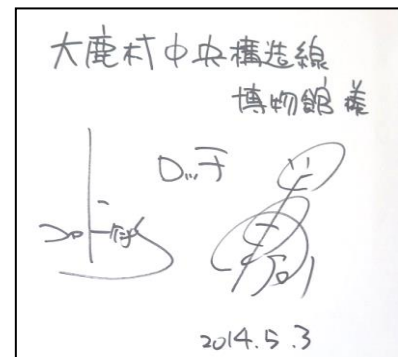
9月末のジオパーク全国大会に向けて、4月16日、博物館で第1回目の勉強会を開催しました。大鹿村内外を問わず、20名以上の方が参加して下さいました。ジオパークについての基本的なことから、中央構造線、山の高さ、地震のメカニズム等々、初回から充実した内容でした。

第2回目の勉強会は、6月18日(水) 午後7時～9時、博物館学習室で開催予定です。参加費無料、途中回のみ参加も歓迎します！

「タモリ倶楽部」の撮影がありました！

村が歌舞伎で盛り上がっていた5月3日、博物館ではテレビ朝日の深夜番組「タモリ倶楽部」の撮影が行われました。

現場からスタジオのタモリさんへ中継するという形式の番組で、今回はレポーターとして、ロッチのコカド ケンタロウさんが博物館へ来て下さいました！



撮影では、学芸員の河本さんによる解説があり、コカドさん、そしてカメラの向こうのタモリさんともに、熱心に聞いておられました。

気になる放送日ですが、まだ詳細が決まっておらず、わかり次第、博物館ホームページに掲載する等、お知らせしていきたいと思ひます。お楽しみに！

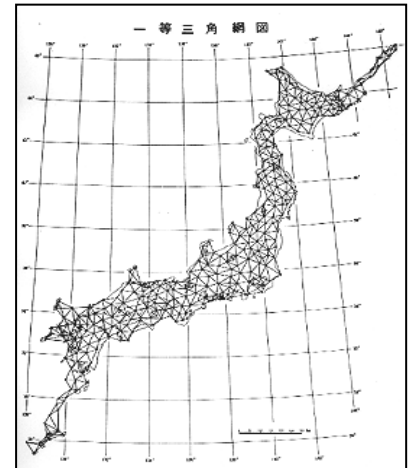
ロッチ2人のサインも頂きました！

赤石岳の高さが4月1日から3121mに

赤石岳の高さが3月31日までの3120mから1m高くなりました。1夜にして1m上昇した・・・わけないですよ。

実は日本列島の形を測る三角点、海面からの高さを測る水準点、地球中心からの位置を測るGNSS(GPS)電子基準点があって、それらのものさしが少しずつれていたのを直した結果です。水準点の標高は2002年に修正されていました。

日本最高の一等三角点は、富士山ではなく赤石岳にあります。隣り合う一等三角点は甲斐駒ヶ岳・大無間山・恵那山にあります。東京麻布の日本経緯度原点から、一等三角点の間の距離と角度を測って網目を描き、日本列島の形の大枠を決めています。そのもとになる地球の形のモデルを2002年に世界共通のモデル(地球楕円体)に換えたので、日本全国の緯度・経度が少し変わりました。このときに、明治以来の地殻変動で生じた三角網のゆがみも修正されています。位置の精度は10cmです。



一等三角網図

(国土地理院ホームページより)

高さの方は・・・山の高さとは何でしょう。日本では東京湾の潮の満ち引きなどをならした平均海面をゼロメートルとしています。では赤石岳の真下のゼロメートルはどこにあるのでしょうか。もしも海岸とホースでつないだ時、どちらにも水が流れない位置が海面と同じでゼロメートルです。標高とは、そのゼロメートルからの高さです。逆に言えば、真下のゼロメートルまでの深さが標高です。

ゼロメートルの位置は、大きな山脈の下では山の引力で引き上げられています。地下に重い岩石がある場合も盛り上がっています。大洋では軽い水で満たされているので、海面は凹んでいます。このゼロメートルの面を「ジオイド」と言います。

高さの測定は、東京永田町の水準原点から主な街道沿いのルートに約2kmおきに一等水準点が埋められていて、その高さを順々にレベルで測っていきます。大鹿の近くでは中山道の下諏訪から伊那谷～小川路峠～秋葉街道を通して東海道の掛川につながる水準路線があります。ただし、この測量で分かるのは東京の水準原点からルート沿いにどれだけ登ったかです。同じだけ登っても、その下の地球中心へ向かう重力の増え方が緯度や地形などにより違い、ゼロメートルまでの深さは直接はわかりません。

近年は水準点の重力が測定され、水準点の標高は、緯度と岩盤の厚さの影響を補正して、2002年に修正されました。また、日本列島の下ジオイドの位置を推定したモデルもつくられました。このときの修正には、100年間の地殻変動による隆起や沈降、地震にともなう変動、地下水の汲み上げによる沈下も含まれています。

山の高さは、水準点から途中の数ヶ所の観測点をたどり、望遠鏡で角度を測って決められています。今回は2002年に標高が修正された水準点とGPS電子基準点の位置関係の確定と、水準点から見た三角点と山の高さの修正がされました。

これで山頂にGPSアンテナを置いて地球中心からの距離を測れば、ジオイドモデルによる直下のゼロメートルの位置を引き算し、標高がすぐに計算できるようになりました。伊那谷や甲府盆地に対する隆起の様子も分かるようになります。期待しましょう。